



平成29年5月16日

ネットいじめに関する授業を公開します
～ネットいじめ早期発見と抑止力を生み出す新たな手立て～
■日時：平成29年5月22日（月）午前9時45分～
■場所：柏市立土中学校

千葉大学教育学部藤川大祐教授は、ネットいじめ早期発見と抑止力を生み出すための新たな手立てとして、柏市教育委員会、敬愛大学と連携し、傍観者の視点に立ち、ネットいじめを許容しない集団の雰囲気醸成するための授業を開発、市立全中学校の1年生を対象に同授業を開始します。

このうち、初日に当たる授業を次のとおり教育関係機関・報道機関に公開します。

1 公開する授業について

(1) 日時：平成29年5月22日（月）午前9時45分～10時35分（2時間目）

(2) 場所：柏市立土中学校（増尾1-23-1、校長：鈴木淳一）

(3) 対象クラス：1年1組 担任：川津真由美教諭

(4) 授業内容：

「私たちの選択」と題するネットいじめに関するオリジナルの映像教材を視聴しながら、生徒たちが傍観者の視点でいじめを考え、議論します。また、今回新たに導入し生徒たちに提供する報告、相談しやすいアプリの説明も行います。

(5) その他：

授業終了後、別室にて取材者向けに、授業に関する質疑応答、導入するアプリのご説明等を行います。

2 当日の駐車場について

取材者用に駐車場をご用意いたしますので、5月19日（金）までにストップイットジャパン（株）谷山宛（電話 050-3754-2219）へご連絡ください。

3 授業開発等の経緯について

別紙をご参照ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

ストップイットジャパン株式会社 谷山

Tel: 050-3754-2219 / FAX: 050-3737-0914

【別紙】ネットいじめを許容しない集団の雰囲気醸成するための授業について

1 ネットいじめの現状と課題について

- ・全国的にネットいじめによる自殺が発生し続けている
- ・柏市では中1のいじめの認知件数が多い
- ・ネットいじめは可視性が低く、保護者や教師の早期発見は困難



深刻な事態になる前に予防・介入することが大切

○文部科学省いじめの防止等のための基本的な方針

平成 25 年 10 月 11 日 文部科学大臣決定

6 いじめの理解

加えて、いじめの加害・被害という二者関係だけでなく、学級や部活動等の所属集団の構造上の問題(例えば無秩序性や閉塞性)、「観衆」としてはやし立てたり面白がったりする存在や、周辺で暗黙の了解を与えている「傍観者」の存在にも注意を払い、集団全体にいじめを許容しない雰囲気が形成されるようにすることが必要である。

○千葉県いじめ防止対策推進条例

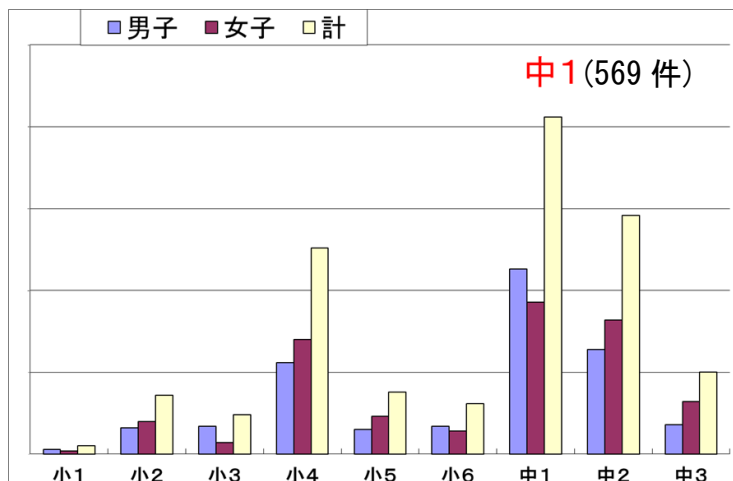
第4条

- ・児童等は、他の児童等に対して行われるいじめを認識しながらこれを放置することがないように務めるものとする。



改めて傍観者の存在と役割が大切に

■柏市における平成 27 年度学年別いじめの認知件数



2 授業開発について

柏市教育委員会と2大学との連携により開発しました。

【指導内容の検討】

- ・ 藤川大祐 氏(千葉大学 教育学部 教授)
- ・ 阿部 学 氏(敬愛大学 国際学部 講師)

【教材の作成】

- ・ ビデオ(ドラマ)の制作(千葉大学の科研費)

【指導者育成】

- ・ NPO 法人企業教育研究会より派遣

3 新たに導入するアプリについて

相談できない子供に対しセーフティネットの1つとして、また傍観者に対して解決方略の1つとして、新たに「STOPit(ストップイット)」という、シンプルですばやく、匿名で報告・相談できるアプリを導入します。公立学校での導入は日本で初めてとなります(私立は3校導入済み)。

【「STOPit」の概要】

- ・ 「STOPit」プラットフォームの開発・提供は、Inspirit Group, LLC (DBA: STOPit、本社: 米国ニュージャージー州、創業者 兼 CEO: Todd Schobel)社
- ・ 日本では、株式会社ストップイットジャパン(本社:港区芝浦 4-12-44 芝浦 TMビル 6F, 代表取締役社長:谷山大三郎)が、日本の教育分野における独占販売代理店契約を締結し、日本の教育現場のニーズにあった製品展開を進めている
- ・ アメリカでは、約 6000 校, 266 万人が利用
- ・ アメリカ, 日本, ニュージーランド, 南アフリカ共和国, オーストラリア, カナダの6か国で展開
- ・ 世界を変えるための役立つアプリ5選(CNN)にも選出されている